

総力戦で臨む浅井康太

久留米競輪開設69周年記念第24回「中野カップレース」が6月23日から開催される。S班は浅井康太、諸橋愛の2名、他にも山中秀将、吉澤純平、小川真太郎ら他地区のライバルたちが坂本亮馬ら地元、九州勢が迎え撃つ。最終日9Rにはレインボーカップチャレンジファイナル(展望は裏面に掲載)も開催されるなど見どころの多いシリーズだ。

浅井康太が高い総合力で優勝争いをリードする。近畿の機動型はいるが、今シリーズは上位に中部の機動型が手薄。4日間の自力戦も覚悟してシリーズに臨んでくるだろう。最近は前線で戦うレースも多く、5月ダービーのゴールデンレサー賞、そして京王閣記念でも自力で攻めて2勝を挙げている。状態もよく、自力でのレースに不安もない。ここ



浅井康太

もしつかりと決勝に勝ち上がり、シリーズの頂点を狙う。山口富生、志智俊夫の追い込み陣が浅井をマーク。ともに近況は好調で記念優出は十分に狙えそうだ。

山中秀将のスピードも争覇の一角を占める。4月奈良の決勝で落車したが、続くダービーで決勝に進出して不安を一掃した。調子は良好。連対時の決まり手は全てまくりだが、デキのよさは仕掛けの早さにも表れている。昨年2月の四日市以来となる自身2度目の記念優勝も射程圏内だ。渡邊

山中秀将



雄太は5月名古屋で記念初優勝。決勝戦は築田一の逃げに乗ってのものだが、ダービーから積極的なレースで調子のよさをアピールしている。成清貴之は5月松阪、6月大宮と落車続きで状態が気かり。それでも山中に渡邊と頼もしい目標がそろったここはチャンスを生かしたい。

森輝大と自力型はそうだが、芦澤辰弘が今やS級上位の追い込み型として力をつけただけに、諸橋もすんなり番手回りははいかないだろう。吉澤はシリーズ屈指の自力タイプ。京王閣記念では清水裕との壮絶なモガキ合いを制すなど、その力は平原康も認めるところだ。

ダービーで3勝を挙げた小川真太郎も記念初優勝を狙えるだけの力はある。同県の出陣に香川雄介、池田良とスジの援軍も豊富。なかでも香川は3月ウイナーズカップ、ダービーと立て続けにビッグ優出を果たすなど乗れている。小川を軸に侮れないラインになりそう。

2度目のV狙う坂本亮 坂本亮馬にとっては気合の入る地元記念。絶対調とはいえないが、2度目の地元制覇も可能な状態にはある。坂本自身も前々自在なレースができるが、今シリーズは松岡貴久に井上昌己、吉本卓仁とタイプの違う自力選手がズラリとそろった。九州勢で一丸となつて他地区の強豪を迎え撃ちたい。

大駒こそ見当たらなもの、近畿勢にも松岡健介、中井俊亮に藤木裕と機動型がそろっている。追い込み陣も東口善朋、三谷将太と粒ぞろいで、戦力は充実している。



開設69周年記念 第24回中野カップレース GIII 2018 6/23-24 25 26 久留米競輪場

諸橋愛もS班の意地を見せたい。昨年後半から落車が続いていたが、3月玉野記念からは落車していない。あっせんがなかった4月で体づくりはできているはずだし、そろそろその結果に表れてもいい頃。鋭いキメ脚に注目だ。ただ諸橋以外の関東上位陣は全員が茨城勢。吉澤純平、杉

諸橋愛が意地見せる



諸橋愛

一方、北日本勢は菊地圭尚、飯野祐太に元気がなく苦戦を強いられそう。

主力メンバー

※2018年6月11日現在

Table with columns for rider names, grades, and race results. Includes '主力選手プロフィール' and '直近12場所成績' sections.

久留米記念 出場予定選手

Table listing participants for the Keirin Memorial race, including names, grades, and race points.

※2018年6月11日現在のデータです。